



看護部の理念

看護部の理念
み 看つめあい ふれあう心で まもる^{いのち}生命



◀看護部HP

当院の看護部 広がる専門性

看護師は来院された患者さんやご家族が多くの場面で接する身近な存在です。当院の看護部にはおよそ600名の看護師が所属し、多くは病棟や外来、手術室、集中治療室などの部署に配属されています。そのほかにも、専門的な知識・技術を有する看護師がリソースナースとして組織横断的に活動しています。現在では専門看護師4名、認定看護師13名がエビデンスにもとづいたベッドサイドケアを支えています。



専門看護師	
慢性疾患看護	1名
精神看護	1名
がん看護	2名



認定看護師			
感染管理	2名	小児救急看護	1名
皮膚・排泄ケア	1名	集中ケア	1名
がん性疼痛看護	1名	認知症看護	1名
がん化学療法看護	1名	脳卒中リハビリテーション看護	1名
緩和ケア	1名	摂食・嚥下障害看護	1名
救急看護	1名	手術看護	1名

2020.1.1 現在

医科・歯科を携えた 大学病院としての人材育成

当院は母体となる東京歯科大学が開設した地域の急性期医療を担う中核病院として、質の高い安全で安心な医療の提供を目指しています。大学附属の病院として求められる診療、教育、研究を念頭に、看護師の人材育成にも力を入れています。「キャリアラダー」と呼ばれる各個人の経験年数や能力に応じたステップアップシステムをはじめ、数多くの教育プログラムを展開しています。また、患者さんの高

教育体制を充実し、患者さんへと還元する

齢化とともに重要性が増している周術期口腔ケアや摂食嚥下リハビリテーションなど、口腔・歯科衛生は合併症予防や全身の健康管理に必要不可欠であり、当院が得意としている分野のひとつです。すべては質の高い看護を患者さんに還元するために、今後も看護部内の教育支援室と連携し、新人から指導層までの幅広い段階に合わせた研修を企画、実行していきたいと考えています。

「住み慣れた地域での生活」を、支える看護

地域医療支援病院である当院には、地域の医療機関のみならずスムーズな連携が求められています。そこで活躍しているのが「退院調整看護師」「在宅療養支援看護師」です。

退院調整看護師は患者支援センターに配置され、医療機関、施設、行政機関、訪問看護・介護などと連携し、患者さんの退院後の生活について院外との調整を担っています。



患者さんを中心に、全てが調和するように

看護部

在宅療養支援看護師は、各病棟に数名配置され、夜勤業務を行いながら日勤帯での役割として独立した業務を行っています。主な業務は、退院調整看護師と情報共有しながら、退院後もその人らしく生活できるように療養環境の移行が円滑に進むよう支援することです。在宅療養支援看護師は院内認定看護師として1年間の教育プログラムに参加し、教育実習では地域における医療、福祉、介護施設のみなさまの力をお借りして知識と経験を重ね任命されます。病棟では在宅療養支援看護師が中心となって退院後の生活を見据えた入院中のケアを計画する、多職種カンファレンスを毎週開催しています。

顔の見える関係で、切れ目ない連携を

当院で治療後に、患者さん一人ひとりの思いに寄り添いながら療養環境を移行していくためには多職種連携による相乗作用が重要だと考えます。院内外の医療職、福祉職、介護職など様々な立場の方々と情報共有するカンファレンスでは看護の専門性に立脚した発言と、お互いが遠慮せずに意見を言い合えることを大切にしています。そのために当院では、関係しうる多職種同士、顔が見える関係性を築くことを願って「市川総合病院在宅療養支援ネットワーク協議会」を設置し、定期的に勉強会や情報交換会を行っています。誰もが患者さんを大切に思うからこそ、遠慮のない発展的なカンファレンスを実現していくことが私たちの一番の願いです。

実現したい看護と看護部の展望

看護部では、看護職員一人ひとりが生き活きと働き続けられることが一番大切だと考え、そのための環境づくりや雰囲気づくりに尽力したいと考えています。看護は「できてあたり前」と思われる部分も大いにありますが、そのあたり前を生み出すことこそ日々の努力の積み重ねなのです。できたことを褒める、よい部分を可視化することで個人のモチベーションアップを生み出し、個々がつな

がって看護部全体の組織力アップにつなげていければと思います。

その想いは、日々のケアとして看護師の手を介して必ず患者さんに還元されると考えています。

看護は、患者さんを一人の人として、その方のライフサイクルに配慮したケアを行うことが大切です。支援を必要とする方の本来の姿、本来のライフサイクルを丁寧に把握し、その方の持てる力が最大限発揮される看護が実践できるよう、地域の医療・介護機関などとさらなる関係性を深め、今後も全力で看護していきます。

Nurse's profile



Junko Yoshikawa

吉川 淳子 看護部長



資格

看護師、助産師

出身

秋田県大館市生まれ。短大時代は弘前で過ごし、卒業後に千葉に来ました。

看護師になったきっかけ

親戚に大学病院に勤務する助産師が2名おり、その姿に憧れました。

趣味

ハゼ釣り歴20年です！館山



座右の銘

若い頃は「攻撃は最大の防御」、でも今は「調和」です♡

スポーツ歴

小～中学生時代はバレーボール、大学で少林寺拳法を4年嗜みました。（県大会で銀メダル獲得!）



医療機関の先生方へ

市川総合病院 診療情報提供書

検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者さんのご紹介などを円滑に行えるように、「地域医療連携室」を設置しています。ご不明な点がございましたら、下記へお尋ねください。

患者支援センター地域医療連携室 TEL 047-322-0151(内線2214) FAX 047-324-8539(直通)

開室時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時 土曜日：午前9時～午後1時(第2土曜日は休診日)